



学校だより

青い鳥

平成28年度6月号
さいたま市立上落合小学校
平成28年6月1日作成

さいたま市中央区上落合4-14-24 TEL 852-5381
<http://kamiochiai-e.saitama-city.ed.jp/> E-mail:kamiochiai-e@saitama-city.ed.jp



Little Eyes I

校長 藤澤 太郎

この季節は、何をするにしてもいい季節だと思います。今年は急にジトジトして気温が急上昇して我慢できない日もありますが、暑くても空気が乾燥しているので爽やかな気分で活動することができます。

先日の運動会では、学年・学級・個人が躍動し、短時間の準備でしたけれど大きな成果を得ることができました。応援にお越しいただいた後援会・地域の方々をはじめ保護者の皆様、大変ありがとうございました。また、PTAの皆様には運営にあたって多大なご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。この後、学校では、来週5年生が館岩に出かけ、幾つかの学年の校外行事が続きます。1学期は、もう少し頑張らなければなりません。

さて、タイトルの「Little Eyes」ですが、最近、何人かの低学年の児童が校長室に来室しました。何でも「先生と話をしに来た！」とのこと。会話というよりは、一問一答で…第1問「いつから校長か?」:「いつも絶好調!」とは答えずに、「何年か前からですよ。」第2問「給食は何を食べるのか?」:しばらく沈黙、「うーん、今日の給食は何か?」:応答なし。第3問「5時間目はクラスに遊びに来てね。」:即答「行きますよ!」この後クルッと方向転換、自分たちのクラス方面に行ってしまいました。何でしょうね、この感じは?子どもの質問に正対した答えが分からなくて、何だか消化不良な感じですね。おそらく子ども側も所期の目的は達成されていないと想像できます。このことについて、私が準備不足だったことに気付くのにそう時間はかかりませんでした。この場合、第1問の答えは、「いつからだと思う?」が正解で、おそらく4月の全校集会で「今度、上落合小学校の校長に…」と挨拶したことを覚えていてからの質問と推察します。つまり、会話は、その時から始まっていたのです。そして、第2問は、「みんなと同じものですよ!」が多分正解で、彼らは僕が何か特別なものを食べているのでは?と想像したのだと思います。最後に、第3問は、「クラスはどこにあるの?」「担任の先生はだれ?」が正解で、自分のクラスのことは見て欲しかったのだと思いました。やれやれ、彼らは、またやって来てくれるのでしょうか?

そう言えば、何十年か前、授業でこんなことがあったことを思い出しました。(中学校の音楽です)秋の合唱コンクールに向けて合唱曲の音取りをしていた時のこと、ある女子生徒が「先生の歌うように声を出したが、皆と声が違うんだけど…」私「え?どれどれ、ちょっとそのフレーズ歌ってみて。」と、歌いだしたら、①発音が僕と一緒にしている②確かに!アルトのオクターブ下の音程である。アルトのオクターブ下の声色は男声テノールのそれで、あまりにもいい声なのでそのまま…とも思いましたが、本人が違和感を覚えているようなので、発声はともかくとして、直ぐに適正な音程に戻しました。この場合の「Little Eyes」は、発声においては感覚的に会得したのだと推測しますが、音程に関しては僕の声のコピーをやったのだとその時思いました。つまり、ピアノを使って音取りをする分には、こんなことは起こらないのですが、どうしても歌詞やフレーズの微妙なニュアンスを含めて「声」で音取りをしようとするとなんかことになってしまうのです。

この二つの話から、「子どもの考えや目線は面白い!」以上に、「子どもの考えや目線は大切にしなければならぬ!」と考えます。そして、大人から子どもに発信する時は、少なくとも子どもの考え方を洞察して、八割方「この試合はもらった!(あなたの考えは分かっているから)」と確信してから実行するのが、良いのではないかということです。子どもの自由で柔軟な「Little Eyes」に触れることが、目下の楽しみです。

これから、だんだんと夏に向かっていきます。子どもたちには、健康で暑さに負けず、また、日々の見通しをもって過ごしてもらいたいと願っています。

学校教育目標

あかるく

なかよく

たくましく